



市議会だより

令和6年
第3回定例会
第289号
令和6年(2024年)
11月28日発行



9月10日に開業60周年を迎えた東小金井駅（上部：60周年記念イベント、左下：旧駅舎、右下：新駅舎）

7年ぶりに認定

令和5年度一般会計決算

令和6年第1回臨時会（宮下誠議長）は、7月18日に開会し、7月31日に閉会しました。

7月1日に直接請求制度に基づき、市有権者総数の50分の1以上の連署をもって代表者が市長に対して、新庁舎及び（仮称）新福祉会館の建設に関する住民投票条例の制定を請求したこと

第1回臨時会の概要

に伴い、市長から本請求に対し、反対意見を付して条例が提案されたもので

7月31日の本会議では、条例の制定を請求した代表者のうち5人から意見の陳述がなされ、委員会付託を省略し、起立採決の結果、起立少数により、否決しました。

第2回臨時会の概要

令和6年第2回臨時会（宮下誠議長）は、8月16日に開会し、同日に閉会しました。

市長から、固定資産税及び都市計画税の課税誤りが判明したことに伴い、還付不能額及び利息相当額を返還する

ための不足分を計上した、令和6年度一般会計補正予算（第3回）が提出されました。

同日の本会議では、委員会付託を省略し、採決の結果、原案のとおり可決しました。

第3回定例会の概要

令和6年第3回定例会（宮下誠議長）は、9月2日に開会し、10月8日に閉会しました。

定例会では、令和5年度歳入歳出決算の認定が議題となりました。

一般会計の歳入総額は、530億7千671万2千円（前年度対比0.1%増）、3つの特別会計（国民健康保険特別会計、介護保険特別会計、後期高齢者医療特別会計）を含めると761億4千885万4千円となりました。また、一般会計の歳出総額は511億951万2千円（前年度対比1.2%増）、特別会計を含めると739億125万9千円となりました。

また、下水道事業会計の収益的収入は、20億3千884万6千円、収益的支出は19億8千826万4千円、資本的収入は1千955万9千円、資本的支出は、3億9千24万6千円となりました。

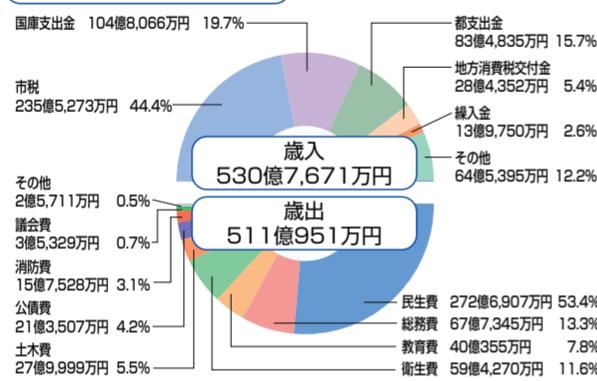
10月8日の本会議において、すべての会計を認定しました。

なお、一般会計については、平成29年度一般会計歳入歳出決算以来、7年ぶりの認定となりました。

庁舎等建設 直接請求された住民投票条例を否決

日曜議会の開催のお知らせについては、7面に掲載しています。

一般会計歳入歳出決算の内訳



※円グラフの決算額は千円の位を四捨五入しているため、構成率の合計が100%にならない場合があります。

令和6年第1回臨時会日誌

- 18日 本会議（議案の審議）
- 31日 本会議（議案の審議、条例制定の請求代表者の意見陳述、採決）

令和6年第2回臨時会日誌

- 16日 本会議（議案の審議・採決）
- 2日 本会議（陳情の撤回・採決、議案の審議・委員会付託・採決）
- 3日 本会議（議案の審議・委員会付託）
- 5日 本会議（一般質問）
- 6日 本会議（一般質問）
- 9日 本会議（一般質問）
- 10日 本会議（一般質問、議案の審議・採決、議員提出議案の審議・採決、陳情の委員会付託）

令和6年第3回定例会日誌

- 11日 議会運営委員会
- 12日 厚生文教委員会
- 13日 建設環境委員会
- 17日 総務企画委員会
- 18日 予算特別委員会
- 19日 庁舎等建設及び公共施設マネジメント推進調査特別委員会
- 20日 行財政改革推進調査特別委員会
- 24日 厚生文教委員会
- 24日 建設環境委員会
- 24日 総務企画委員会
- 26日 本会議（委員会付託案件の採決、議案の審議・採決、議員提出議案の審議・委員会付託、採決）
- 30日 決算特別委員会
- 10月
- 1日 決算特別委員会
- 2日 決算特別委員会
- 3日 決算特別委員会
- 4日 本会議（委員会付託案件の採決、議員提出議案の審議・採決、陳情の委員会付託）
- 8日 本会議（委員会付託案件の採決、議員提出議案の審議・採決、陳情の委員会付託）



審議した主な議案

令和5年度一般会計歳入歳出決算の認定について

9月2日の本会議において、議長を除いた22人で構成する決算特別委員会(清水がく委員長)に付託し、9月30日から10月4日までの計5日間、約31時間にわたり審査を行いました。10月8日の本会議では、起立採決の結果、起立多数により認定しました。

反対討論(要旨)

片山かおる(子どもの権利)

反対の第一の理由は「前市長による保育園廃園専決処分は違法、廃園条例は無効」判決を、白井市長は重く受け止め控訴を行わないのに廃園方針を撤回せず、段階的縮小を進め、判決に背く違法行為を続けている。第二の理由は、市役所庁舎建築設計に関して抜本的なコストダウンの方策や市民からの要望実現に向けた措置が講じられていない。第三の理由は、教育行政。子どもの権利を守る観点から法令遵守の行政運営を求める。

賛成討論(要旨)

河野麻美(自民党・信頼)

市長が執行権を持ち、現場の状況を理解し、市民生活にかかわる、進めるべき事業に取り組み始めた点は評価する。一方で集会所等の空調故障、手狭な学童保育所の維持管理、市民まつりの中止決定に伴う検討や優先整備2路線にかかわる対応等多くの問題があった。新庁舎建設や公共施設の更新を控え、本市の財政は盤石とは言えない状況であり、本来の市民生活を守る

ことを軸に計画的な財政運営に取り組みことを要望する。

反対討論(要旨)

水上洋志(日本共産党)

第一に、物価高騰等で大変となる市民生活への支援が不十分である。第二に、公立保育園廃園に関する東京地裁判決を受け入れず、廃園が進んでいる。第三に、庁舎等建設の市財政への影響は重大で、市民生活の今後の財源をつくるために、庁舎等建設のコストダウンの見直しが行われなかったことである。第四に、集会所のエアコンの更新計画がなく、学童保育所の修繕等の予算が不十分である。以上の理由から不認定とする。

賛成討論(要旨)

鈴木成夫(みらい)

①実現できなかった施策の説明が不十分。②優先整備路線独自検証の無計画な庁内意思決定プロセス。③関係する市民や出展団体、全庁内での意見交換なしに「なかよし市民まつり」の中止を決めたことなどは大いに反省すべき。熟度の低い政策的事業は職員の疲弊や業務のミスにつながる懸念が否定できない。市民との約束を守る姿を職員に示し、職員と一体で、市政の重要課題解消に努めることを要望し、賛成する。

賛成討論(要旨)

小林正樹(公明党)

決算年度は複数の施設で急な空調機器の不具合などが続き、市民活動に大きな影響を及ぼした。全ての設備や備品の不具合を解決した上で、計画的なファシリテイマネジメントに着手す

べきである。緊急修繕費などは、公共施設マネジメント担当で一括管理するなど機動的な予算執行が求められる。窓口改革については、コンビニ証明書交付件数も激増している。新庁舎移転に向け組織編成など改革を進めていただきたい。

賛成討論(要旨)

安田けい(生活者ネット)

新庁舎建設が再開に向け動き出したことは大きな成果として評価する。評価できない点を以下に指摘する。第一に、公立保育園廃園裁判を受け原告のお子さんのみ入園させる判断をしたこと。第二に、HPVワクチンで健康被害を受けた学齢期の被害者の健康状態を把握せず、接種対象者へ情報提供もしない無責任極まりない態度であること。第三に、PFAS汚染について市民の健康や自然環境を守る独自の取組が全くないことである。

賛成討論(要旨)

坂井えつ子(緑・つながる)

市議会の意思として新庁舎建設事業にストップをかけてから建設工事費推計は24億3千万円増加したが、決算年度には事業が再開した。スケジュールどおりに進めることを求める。「武蔵野公園を愛している」と答弁した白井市長には東京都に優先整備2路線の中止を求める要望書を提出するという市長意思を、曲げることなく実現することを期待する。気候非常事態宣言を行った小金井市として気候危機対策の強化を求める。

賛成討論(要旨)

令和6年度一般会計補正予算(第4回)

9月3日の本会議において、予算特別委員会(片山かおる委員長)に付託し、9月18日の委

員会で審査を行いました。

賛成討論(要旨)

補正予算の主な内容は、今後の財政需要に備えた「財政調整基金積立金」(9億9千万円)、新庁舎建設推進と起債抑制に向けた「庁舎建設基金積立金」(2億円)、公共施設等の整備、維持及び更新に向けた「公共施設マネジメント基金積立金」(1億円)、各課で行う定型的かつ多量なシステム入力作業等において、デジタルツールを効率的に活用するため、作業シナリオの作成支援を事業者に委託する「AI-OCR・RPA導入支援委託料」(407万2千円)、とうきょうすくわくプログラムに定める乳幼児の興味・関心に応じた探究活動を実施する民間保育所等に対し、事業に必要な経費を補助する「保育サービス推進事業補助金」(4千200万円)、新型コロナウイルスワクチンの定期接種を開始することに伴い、接種費用の一部を補助するほか、他市との相互乗入れを行い、市民の利便性を図るための「新型コロナウイルスワクチン接種に要する経費」(1億3千71万4千円)、知的、視覚及び聴覚に障がいはないものの、文字の読み書き等に著しい困難を有し、学習の遅れや心身に不調を来す等、学校の生活に支障が生じやすいディスレクシアを抱える児童・生徒の支援に必要となる具体的な対応を教員、保護者、その他関係者に助言等をするため、市立小・中学校を巡回する専門家1人を配置する「読み書き困難等支援員謝礼」(43万2千円)等です。

反対討論(要旨)

斎藤康夫(参政党)

本予算には「自己増殖型mRNA(レプリコン)ワクチン」を接種する可能性のある予算が含まれているので反対する。従来型のコロナワクチンはmRNAであり、人間の遺伝子に影響を与える可能性があることを多くの専門家が指摘している。「レプリコンワクチン」は、研究開発の途上の薬といわれ世界中で日本のみでしか認可されておらず、少量の接種で長期間スパイクタンパク質を産生され、更なる危険性が指摘されている。

賛成討論(要旨)

渡辺ふき子(公明党)

がん患者へのアピランスケア支援、高齢者の補聴器購入費の予算補正。読み書きに障がいを感じているディスレクシアの子どもへ支援事業を開始。幼児教育・保育事業の充実と保育サービス向上へ、とうきょうすくわくプログラム事業導入や保育士キャリアアップ事業。職員の基幹系システム入力業務の効率化や確実性向上と業務改善へAI-OCR・RPA導入支援。新型コロナウイルス定期接種事業等、市民にとって必要な予算。

会付託を省略し、採決の結果、原案のとおり可決しました。

賛成討論(要旨)

高木章成(子どもの権利)

小金井市長に支給する給料の特例に関する条例に賛成の立場から討論する。本件課税誤りは納税者の問い合わせで明らかになった。問い合わせを受け、過去に遡って徴税記録を精査・点検した職員に敬意を表する。少なくとも2000年以降、課税誤りが続き、返還不能金が生じてしまったことは税の公平性や税務行政の信頼性を損ねる。市長の減給で幕引きはあつてはならず真相解明と原因者の責任の明確化、再発防止を強く求める。

反対討論(要旨)

清水がく(街の仲間たち)

現設計案は、市民参加の機会を設け、市議会で議論を重ね最終段階に至った。この段階で再度計画を見直した場合、今後も見直した案をその時々の中で再度見直しをすることが十分に想定される。このようなことを繰り返しては、いつまでも新庁舎や福祉会館は完成しない。これこそ市民に対して無責任ではないか。もういい加減、小金井市政の前に進めるため、新庁舎等建設については、私たちの代で解決するべきである。

れ、議会で不採択。②平成30年に提出された当該団体の要望書には「免震構造適用部分の縮減」と明確に免震構造と異なる耐震システムを求めている。この点は見直し案と比べ、著しく一貫性を欠いている。③見直し案を現設計案と同等に扱うことは、建設業界はおろか本市が行う全ての入札や契約への信用問題となり、議会の議決責任も問われる。よって本案に反対する。

賛成討論(要旨)

新庁舎及び(仮称)新福祉会館の建設に関する住民投票条例

条例の概要は1面に掲載しています。

反対討論(要旨)

沖浦あつし(みらい)

①見直し案に酷似する陳情は、令和2年に当該団体から提出さ

閉会中の委員会日程及び審査案件

庁舎等建設及び公共施設マネジメント推進調査特別委員会 11月6日(水)午後1時 審査案件: 3件	建設環境委員会 11月18日(月)午前10時 審査案件: 4件
行財政改革推進調査特別委員会 11月8日(金)午前10時 審査案件: 1件	厚生文教委員会 11月19日(火)午前10時 審査案件: 10件
総務企画委員会 11月11日(月)午前10時 審査案件: 12件	議会運営委員会 11月21日(木)議会基本 条例検証協議会終了後 11月25日(月)午後2時 審査案件: 5件

※各委員会の審査案件は、二次元コードをスマートフォン等で読み取ることが可能です。



※委員会等の映像については、YouTubeで中継・録画配信しています。



※紙面の都合により、審査案件の掲載は省略しています。

各案件に対する討論の原稿は、議員が作成しています。

一般質問

(4面～6面) 9月5日、6日、9日、10日

※原稿は市長部局の答弁も含めて各議員が作成しています。二次元コードをスマートフォン等で読み取ると、YouTubeでご覧いただくことができます。なお、休憩を挟んだ議員は2つ(上:前半、下:後半)掲載しています。

会派の略称

(自民党・信頼)	自由民主党・信頼の小金井	(こがおも)	小金井をおもしろくする会
(みらい)	みらいのこがねい	(参政党)	参政党小金井
(子どもの権利)	子どもの権利を守る会	(生活者ネット)	生活者ネットワーク
(日本共産党)	日本共産党小金井市議団	(緑・つながる)	緑・つながる小金井
(公明党)	小金井市議会公明党	(街の仲間たち)	街の仲間たち

能登半島災害関連死者数は熊本地震超えた

吹春やすたか (自民党・信頼)



能登半島地震における災害関連死者数は熊本地震の被害者数を超えた。さらに100名以上の方が認定待ちである。災害関連死については真正面から取り組まなければならない。人間は食べたら出さなければならぬ。災害関連死を防ぐために「出すこと」の「大切さと重要性」と「効果があること」を周知していくことが大切である。調布市が都内初トイレトレーラーの導入を決定した。トイレの重要性が認められたのは間違いないと思われる。さらに家庭で使える簡易トイレの備蓄について、改めて呼び



鎌倉市より被災地珠洲市へ派遣されたトイレトレーラー

かけないか。部長 災害関連死の要因として、なるべくトイレに行かなくて済むように水を飲むことを控えた事例が、過去挙げられている。災害時に使用可能なトイレを一つでも多く確保しておくことは命を守ることにつながる。各家庭に対し備蓄について呼びかけを行っていく。



デジタル地域通貨の導入 来年の市民まつり再開は

村山ひでき (みらい)



デジタル地域通貨を導入するため(ア)さくらポイント事業の課題解消に市が動くべき。(イ)関係団体、金融機関、市で研究する場。(ウ)PayPay等と違い、加盟店に決済手数料負担を求めない「せたがやPay」を参考にしよう。

部長 (ア)商工会やポイントカードさくら会に寄り添いたい。(イ)地域の方々が集まるような仕掛けが先との意見もある。引き続き研究課題としたい。(ウ)市民まつりの在り方を検討する会議体であるキックオフミーティングを開催中。(ア)広く様々な団体や市



民の声を聴くべき。(イ)新しいまつりは、いつ、どこでどのような規模で開催するのか。(ウ)軌道に乗るまでの数年は事務局を市職員で担当すべき。(エ)新しいまつりが実現しないなら来年も中止し時間と人員と予算をかけて作り直すべきでは。

部長 (ア)旧実行委員の方を中心に検討を進めたい。(イ)開催時期、会場、規模等は事務局を担う団体の目安がついてからの検討で、現在事務局を探している。本日は答えられない。(ウ)市民が自主的に行うのが市民まつり。市職員が業務として行うことは考えていない。(エ)令和7年度は市民まつりを開催する方向で進める予定。

避難所に行かない意識 啓発と備蓄品の拡充を

鈴木成夫 (みらい)



(ア)避難所に行かない防災意識啓発に努めないか。(イ)避難所で使用する備蓄品の拡充を急がないか。(ウ)市の公式XやLINEを使い、自主防災会の防災訓練の告知をしないか。

部長 (ア)市報8月15日号で防災週間に合わせ災害の備えを意識してもらおうよう、広報と連携し、効果的になるよう努めた。今後も市報、市ホームページ、新たに全戸配布する防災マップ、また各種訓練等を通じ防災意識を高める等、様々な機会を捉え周知啓発に努めたい。(イ)備蓄の課題はスペース確保の問題が大きい。



教育長 (イ)現在各校では、児童数増加や35人学級対応で、特別教室等の転用や増築で普通教室を確保している。各校には普通教室以外のスペースがほとんどなく、災害に備えた備品等の保管場所を校舎内に増設するのは極めて難しい。災害時に安心して避難できることは大変重要なので、今後も継続して課題解決に向け、様々な課と連携し、検討し続ける必要がある。

市長 (ウ)市としても、情報発信、広報のお手伝いができる場所はやっていきたい。その他、進んでいるか、小金井市のインクルージョンについて質問しました。

公民館の課題と 今後の方向性について

五十嵐京子 (自民党・信頼)



平成30年の中教審答申書によると、これからの社会教育は学びの支援と住民相互のつながりの形成に加え、地域の持続的発展を支える取組に資することである。小金井市公民館中長期計画にも同趣旨の記載があり、地域づくりの実践につながる地域課題解決型学習の推進を図ることが書かれてある。(ア)課題解決型学習の現状は。(イ)中長期計画にも実践を支援する機能の強化と役割が明記されており、課題解決に結び付ける取組が必要では。(ウ)緑センター委託化による変化の状況は。(エ)公民館の有料化の議論の

進捗状況は。部長 (ア)成人教育事業の市民講座、成人学校の一環で高齢者の親睦や仲間作りを実施しており、他にも各種講座で実施。(イ)多世代交流や地域コミュニティについては公民館運営審議会の意見も参考に検討したい。(ウ)社会教育士等資格保持者を含め4名の職員が配置され、分かりやすい情報提供や人と人をつなぐ仕組みを意識した取組を進めている。(エ)公民館運営審議会において受益者負担を丁寧に協議していただき、理解いただけるよう取り組みたい。その他、市民まつり再開について参加団体への情報提供を要望しました。



部長 (ア)今年度は更なる外部委託の試行を進める。(ウ)老朽化している施設の維持管理を含め総合的に計画を練り上げていく必要がある。

教育長 (イ)来年度は更なる外部委託の試行を進める。学校部活動の地域連携に関する検討委員会が開始した。(ア)新たな部活動を創る仕組みなど現状の課題も検討する。か。(イ)部活動指導員を更に拡充し、多摩で3番目に低い報酬単価を見直す必要がある。(ウ)地域移行の実施時期は。

部長 (ア)小金井らしい部活動の在り方について多角的に検討する。(イ)ニーズを見極め、近隣地区の報酬額に注目していく。(ウ)令和7年度早い時期に実施したい。

存続危機にある水泳授業 と中学校部活動を問う

岸田正義 (みらい)



①異常気象により子どもたちの命を守る大事なスキルである水泳授業が存続危機にあり、屋内プールを活用した民間委託を5年訴え、本町小学校の水泳授業委託が試行実施された。(ア)アンケート結果と成果は。(イ)既に多摩26市中15市が水泳授業委託を開始、更なる委託を実施すべき。(ウ)小学校プールは8校が築40年超、うち4校が60年に達し、存続の可否も含め今後の水泳授業方針を策定すべき。

部長 (ア)児童、保護者、教員とも肯定的回答が多く、専門的指導による泳力向上、天候に左右されない指導等



教育長 (イ)今年度は更なる外部委託の試行を進める。(ウ)老朽化している施設の維持管理を含め総合的に計画を練り上げていく必要がある。

②存続危機に瀕している学校部活動の地域連携に関する検討委員会が開始した。(ア)新たな部活動を創る仕組みなど現状の課題も検討するか。(イ)部活動指導員を更に拡充し、多摩で3番目に低い報酬単価を見直す必要がある。(ウ)地域移行の実施時期は。

部長 (ア)小金井らしい部活動の在り方について多角的に検討する。(イ)ニーズを見極め、近隣地区の報酬額に注目していく。(ウ)令和7年度早い時期に実施したい。

デイスレクシア支援 高齢者記念品支給事業

沖浦あつし (みらい)



①文字の読み書きに困難(デイスレクシア)を抱えている小中学生は、クラスに2、3人いると言われる。市内奉仕団体が慈善事業を通じて寄贈した読み書き困難指導・支援研修の52の受講者への本市教職員の反響が大きかった。(ア)今回未受講の教職員が来年度以降当該研修を受けられるよう予算の検討を。(イ)静かに困っている子を早期に適切な支援につなげるため、集団アセスメント(希望制)の重層的取組を行わないか。

部長 (ア)今回の研修の効果等を踏まえ研究する。(イ)現時点では個別相談を丁寧に行うことが適切と考える。つき、本市では9月1日が基準日のため、誕生日によって、国・都からの記念品より1年遅れて本市からの記念品が届く現象が起こる。高齢者記念品の支給要件を国・都と同じ「年度内に100歳」と改善すべきでは。



部長 今回これだけ違うことを理解した。ただ、近隣市も必ずしも国・都と全く同様ではない。事業開始当初の経過も踏まえた上で、内部でどのような形が考えられるかお預かりさせていただきたい。

その他、シニア元氣フェスタ・シニア健康運動教室について質問しました。

AEDの24時間利用可能な環境整備を早急に

清水がく (街の仲間たち)



AEDの屋外設置、外付けといった、AEDの24時間化を強く求める立場として質問をする。私はAEDを使って人命救助を行った経験から、AEDを24時間利用可能な環境が必要と強く感じた。AEDを使用できる時間が長くなれば救命率の向上に寄与することは市も認識しているが、平成17年から、市内各施設での24時間利用可能な環境整備について研究が一向に進んでいない状況である。現状、市はAEDを使用するのを利用者のみを対象としているから研究が進まないのであり、対象利用者

を拡大させ、市施設を中心としたそのエリアの方々の不測の事態に備えることも重要と考える。そのことから、市の施設だけではなくコンビニエンスストアやガソリンスタンドなどの民間施設も含め、24時間利用できるAEDがないエリアから、市施設でのAEDの24時間化を進めていかないか。



市長 今回の指摘、ご提案は非常に重要なこと。ご指摘があったようにAEDを24時間使えることで助かる命があるということは間違いなく、必要性は高いと認識している。市として、これからのように進めていくべきかこれから整備をしなければならぬ。

会議録が早くご覧になれるよう、未定稿(校正中)を公開しています。

<http://www.city.koganei.tokyo.dbsr.jp/>



集合住宅のトイレ問題 デフリンピックの取組

小林正樹 (公明党)



を防災計画に反映するべきではないか。

在宅避難をされる方の43・8%が避難所や公園のトイレを利用すると言われてる。この値を加味すると、避難所のトイレは理論上、不足していることになる。(ア)集合住宅では発災時のトイレマニユアルは整備されているか。(イ)マニユアル整備、簡易トイレの備蓄を呼びかけるべき。(ウ)住宅管理者やマンション組合を対象とした講座を開催しないか。(エ)市営住宅のマニユアル整備状況は。(オ)避難所の段ボールベットの備蓄について、東京都の地域防災計画修正案に基づいて、協定先からの供給分も含めた配備目標



部長 (ア)把握はしていない。(イ)機に依りて啓発する。(ウ)前向きに検討する。(エ)入居者への周知方法を検討する。(オ)今後の修正において、総合的に勘案したい。

部長 (ア)「本事業への関心は大いにあり」が3年前の6社から2社に減。「条件による」が8社だった。(イ)地域貢献の提案も踏まえ施工者選考委員会で決定する。(ウ)障害者施策の拡充について(ア)放課後等デイサービス等、発達障害のある子ども増加に伴い、施設の拡

新庁舎・福祉会館建設を 地域振興の起爆剤に

渡辺ふき子 (公明党)



が必要。(イ)障害者支援施設整備事業について、入所

①実施設計が終了し施工者選考の準備に入る。(ア)サウンディング調査の結果から見えるものは。(イ)地域振興に寄与し、市内の商店会や商業者の期待に応える。地元事業者の参入や、建設工事期間中の商店街の積極的利用を推進すべき。



部長 (ア)きりりでは各曜日定員10名で50名を受け入れており、待機者は現在27名。(イ)地域自立支援協議会の部会で協議している。市民営の施設の視察も行う。(ウ)他市の事例を参考に研究課題とする。

②出産育児に寄り添う産後ケアの専門家「産後ダウン」を活用し、イベントの後援や、こども商品券の利用を可能にしないか。

28度越えの学校教室は3 教室。断熱改修の実施を

坂井えつ子 (緑・つながる)



それぞれの改修時は。(オ)大規模改修時でなくとも、経

学校環境衛生管理マニユアルでは児童・生徒などに生理的、心理的に負担をかける最も望ましい温度は、夏は25〜28度程度としてい



部長 (ア)学校薬剤師は階の異なる2教室を測定している。普段は教師が温度調整に努めている。マニユアルに沿えるよう検討したい。(イ)文科省の手引きでは「大規模改修時に断熱工事を必ず実施していただきたい」としている。検討していきたい。(ウ)ない。一小改修時に建物の断熱化を図る。(エ)個別の改修時期は来年度にかけ計画を見直す中で定めていく。(オ)研究していきたい。

部長 菌と口腔に関する条例の制定は全国で23自治体。都内では、千代田区、豊島区、渋谷区、杉並区、日野市が制定済み。多摩市が制定に向けて準備。現時点では、健康増進法に基づき健康増進計画を策定しており、まずは本計画を着実に推進することで市民の健康増進を図ることができると考えており、条例を制定する考えは持ち合わせていない。健康づくり審議会に三師会も入っており、議員

身体・心・歯と口腔 健康づくり条例制定を

渡辺大三 (子どもの権利)



からの提案を共有したい。

①「身体」「心」「歯」と口腔の健康づくりを総合的に推進する条例の制定を目指して検討を始めるか。



地震発生時の避難所運営 小学校のプール授業

遠藤百合子 (自民党・信頼)



の問題が自主防災会の組織力に影響を及ぼすと考える。

①首都直下地震は2022年5月の被害想定報告書によると、多摩東部で30年以内にマグニチュード7.3、震度6弱が70%の確率で発生すると言われている。(ア)自治会における防災会の現状と課題は。(イ)避難所の運営をどうしていくか。(ウ)避難所運営協議会の現状と今後は。また、必要な負担を予算化しないか。(エ)夜間や休日に発災した際、避難所運営協議会等に鍵を預けないか。



部長 (ア)把握はしていない。(イ)機に依りて啓発する。(ウ)前向きに検討する。(エ)入居者への周知方法を検討する。(オ)今後の修正において、総合的に勘案したい。

②本町小学校夏休み前目の市営プールを使用してのプール授業について、各小学校の来年度以降の考え方は。市長 教育委員会が調整し、丁寧にしつかりと積み上げていく必要がある。

住民投票「否決」を受けて、 市民参加を問う

高木章成 (子どもの権利)



市長 (ア)現設計案と見直し案を問う住民投票は適当ではないことがご理解いただけだ。(イ)条例の内容が市の政策意思に反する。民主主義を否定するという意見は付していない。(ウ)主権が国民にあるの言うまでもない。市政においても同様

①白井市長は議員時代から基本的に現行憲法を擁護する立場で国民主権や民主主義の理念は共有できると考えていた。市長になり変わったと疑念を持った。(ア)新庁舎及び(仮称)新福祉会館の建設に関する住民投票条例案は市長の反対意見のとおりに否決されたが受け止めは。(イ)直接請求や住民投票は民主主義を否定するものなのか。(ウ)市民参加条例の理念をどのように市政に反映するか。(エ)義務的市民投票規定の請求要件を13%から10%に引き下げないか。(オ)市民参加は基本的に応援するか。



市長 (ア)本市の魅力を再構築する予算。現時点の評価は差し控える。(イ)色というものがいいのちよっと悩むところ。

②今年度予算の執行状況の所見は。(イ)来年度予算編成に白井カラーをどのように打ち出していくのか。

訪問介護事業所の 実態調査と支援を求める

水上洋志 (日本共産党)



部長 (ア)訪問介護の利用者は増加傾向にある。ヘルパー確保に苦慮していると聞く。(イ)影響については注視していく。(ウ)市独自の支援は難しい。(エ)機会をとらえて意見を上げる。

訪問介護事業所への支援を求める。報酬改定で訪問介護は切下げとなった。全国的に介護事業所の倒産が増え、介護基盤の崩壊が指摘されている。(ア)訪問介護の状況についてどう考えるのか。(イ)報酬改定の影響などの実態調査を行わないか。(ウ)保健福祉総合計画のアンケートで「赤字」と答えた事業所が45%に上り、影響があることは明らかである。一時金の支給などの支援を検討すべきである。(エ)国で整備を求め、また、豪雨対策について、周知・啓発とは更なる負担増が検討されている。負担増をやめさせ、報酬の見直し等の意見を上げてほしい。



部長 (ア)訪問介護の利用者は増加傾向にある。ヘルパー確保に苦慮していると聞く。(イ)影響については注視していく。(ウ)市独自の支援は難しい。(エ)機会をとらえて意見を上げる。

①「身体」「心」「歯」と口腔の健康づくりを総合的に推進する条例の制定を目指して検討を始めるか。

優先整備2路線等の 整備の検証について

古畑俊男 (子どもの権利)



せていくという解釈でよろしいか。(ウ)令和6年第1回定例会の資料では、未施行路線委託は令和6年度中に完了、優先整備2路線については令和6年度中完了予定となっている。後者は、腰を据えてやっても良いと思うが、その点いかがか。

部長 (ア)今まで検証項目や手続、スケジュール等に関する様々な意見を頂いている。反映できるものは反映して進めていく。(イ)そのとおりである。(ウ)両作業ともに1月から3月にかけて判断する予定である。



部長 (ア)今まで検証項目や手続、スケジュール等に関する様々な意見を頂いている。反映できるものは反映して進めていく。(イ)そのとおりである。(ウ)両作業ともに1月から3月にかけて判断する予定である。



公立小中学校の 不登校対策

齋藤康夫
(参政党)

(ア)多くの児童生徒の中には現在の学校教育に馴染むことができない人もいる可能性がある。そもそも不登校は悪いことなのか、解消すべきものであるのか。(イ)小金井市の不登校児童・生徒数は東京都や全国と比べて、小学生は少し多く、中学生は少し少ない。この結果に対する見解を求めます。(ウ)公立小中学校に代わるフリースクールを注目すべきではないか。(エ)我々議員が理解すべきこと、また教育者側から分かってほしいことはあるか。



行けるように対応することが求められた。今では不登校はすぐに解消すべき問題と考えることは適切でないと思われる。(ウ)フリースクールは規模や活動内容が様々であり、フリースクールの出席を学校の出席と認めるためには一定の要件を満たす必要がある。

課長職 (イ)出現率はそうなっているが、長期欠席では小中学校とも少ない。教育長 (エ)かつて不登校が増加した3つの波があった。小金井市教育委員会としては、学力の向上という言葉は使わなくなった。生きるための確かな学力を身につけさせるとしている。

部長 (ア)かつては、不登校は望ましくなく、学校に

気候危機対策の 充実を求める

たゆ久貴
(日本共産党)

近年、世界各地で地球温暖化による異常気象が頻発している。このまま温暖化が進行すると私たちの市民生活に大きな影響が出る。気候変動による気象災害は極めて深刻で身近に迫った脅威であり、まさに気候危機といえる。国や東京都は石炭火力発電の延命や開発による緑の伐採などを行っており、気候危機対策に逆行する取組も見られ決して十分とは言えないが、小金井市においては先進的な取組を求める。(ア)2022年1月に「小金井市気候非常事態宣言」を出してから市政はどのように変わったか。



(イ)小金井市地球温暖化対策地域推進計画の温室効果ガス排出量の削減目標の適切な値への引上げが必要ではないか。(ウ)住宅用新エネルギー機器等普及促進補助交付金は、断熱窓や遮熱塗装などのメニューを追加し、予算規模も千万円ほどから千600万円ほどに増額してきて良かったが、それでも今年はずでに補助の合計が予算額に達している。更なる増額が必要ではないか。

部長 (ア)環境教育の充実、住宅用新エネルギー機器等普及促進補助交付金の増額、次世代自動車普及促進補助金、省エネチャレンジなどを行ってきた。(イ)検討を進める。(ウ)制度を継続する。

不登校支援の充実／子育て オンライン相談導入を

水谷たかこ
(こがも)

(ア)全国の不登校児童の出現率は令和元年度と5年度の比較では小学1年が最も増えている。本市の状況は。(イ)保護者グループ等の情報に必要時にアクセスできる工夫を。(ウ)カウンセラー予約をICT化できないか。(エ)別室指導教室がない学校の支援は。学童保育所の育成室は利用できないか。



かな対応をしており、新設した不登校対策会議でも学期に一度協議している。育成室利用は学校から具体的に相談があれば協力したい。

産婦人科と小児科のオンライン相談が24時間可能で、医療情報の配信等もできるサービスがあり、産後うつへのリスクを減少できるDXを推進し、人でなければできない相談等に職員のリソースを注力しないか。

部長 今年度は組織統合して切れ目のない対面支援に力を入れており、併せて他市事例等を研究したい。その他、学校運営協議会の協議状況を確認し、リリース等での広報拡充と理解促進を提案しました。

市による子どもへの 人権侵害はやめるべき

片山かおる
(子どもの権利)

(ア)市立保育園の保護者4人からの人権救済申立への見解は。(イ)新たな法律意見書にあるように、住民の平等利用権への抵触では。(ウ)控訴せず確定判決によって違法・無効とされた募集廃止条例の適用排除は行政の原則に適合するのでは。(エ)判決を重く受け止めるのでは。(オ)判決で市長は利用申請に対し改正前の条例を適用すべきだったと判示されている。(カ)原告のお子さんの権利侵害を続けていくのか。(キ)市長公約を実現するために今の対応を見直すのか。(ク)来年度2歳児募集廃止は違法な行政執行で



(ク)子どもへの人権侵害は一刻も早くやめてほしい。

部長 判決は原告との関係において専決処分を違法、条例を無効とするもので原告以外の第三者に対して法律上の義務を生じない。条例は不安定な状態なので市立保育園の在り方検討の上で必要な対応をする。原告のお子さんが最後に1人になってしまふのは課題。

3・4・11号線／薬局準夜 調剤／学校プール授業

河野麻美
(自民党・信頼)

(ア)市長は都に環境に配慮した道路整備を求めるとの発言は。(イ)当該路線の整備により、近隣市と連携し新たなバスルートの開設が考えられ、本市の発展に必要不可欠が見解は。市長 (ア)検証結果を踏まえ総合的に判断する。(イ)都市間ネットワークが重要だと認識している。



夜帯に開局している薬局について市報に掲載すること

部長 (ア)医療提供体制の整備は重要と考えている。(イ)担当部局と調整する。

部長 (ア)満たなかった学年もわずかにあった。(イ)移動時間があり、給食時間に影響があった。(ウ)充実した指導ができるよう支援する。

はて？男女別年齢制限 図書館で託児サービスを

安田けいこ
(生活者ネット)

(生活者ネット) ①小金井市民体育祭ゴルフ大会の参加条件が「男性35歳以上、女性20歳以上」と男女差があると市民から情報提供があった。会場の小金井カントリー倶楽部の参加条件そのままであり、1996年に男女平等都市宣言、2003年に男女平等基本条例を定めた本市主催の大会参加条件として極めて不適切である。これまで長く同条件で実施されてきたが今後は変えていくと市長は明言すべきではないか。



②活字離れが進む中、図書館で子育て支援に取り組む意義は大きい。(ア)図書宅配のハンディキャップサービスを妊産婦に広げないか。(イ)国分寺市など近隣市でも実施している図書館での託児サービスを始めないか。

部長 (ア)要綱の取扱い含め検討したい。(イ)お子様の安全確保等の課題があり、引き続き検討を要する。

国分寺市の託児付き図書館サービスのチラシ

ココバス東町・中町循環 の存続を

森戸よう子
(日本共産党)

ココバスの東町・中町循環の2路線が2027年3月末に廃止すると京王バスから申入れがあった。ココバスは市民にとって重要な移動手段であり、存続が求められている。(ア)市は2路線を存続する立場で協議するのか。(イ)全国、東京都内でも運転手不足が問題となっている。地域公共交通の支援を国や東京都に要請しないか。(ウ)ココバスの乗降客数を増加させるため、シルバーパスの使用、他市のような65歳以上の免許返上者への回数券を1回発行するなど工夫しないか。(エ)ハンドレイサポーターが今年度末



で廃止されるが、武蔵野市のような有償移送事業が実施できないか。

部長 (ア)継続運行できる道がないか模索したい。(イ)国や都道府県単位の広域的な取組が必要であり要望したい。(ウ)持続可能な運行が難しくなるため、高齢者の方は再編前と同額の100円とする割引制度を導入している。(エ)他市の状況や取組について調査の上、市として取り組めることがないか、社会福祉協議会とも連携しつつ、検討したい。

その他、都市計画道路の検証について、公立保育園の廃園条例の違法判決の結果に対する市の対応の是正について質問しました。

視覚に障がいのある方へ「声の議会だより」をご利用ください

意見書・決議の審議結果

※ 可決された意見書は、国等への関係機関に送付しました。

件名	要旨(提案議員が作成)	○:賛成 ×:反対 △:退席 -:欠席(忌引) 議:議長(原則、採決には加わらず)													議決結果										
		自			み			子			共		公			お		参		ネ		緑		街	
		河野麻美	吹春やすか	五十嵐京子	遠藤百合子	岸田正義	沖浦あつし	鈴木成夫	村山ひでき	古畑俊男	渡辺大三	高木章成	片山かおる	たゆ久貴		水上洋志	森戸よう子	渡辺ふき子	小林正樹	宮下誠	水谷たかこ	斎藤康夫	安田けいこ	坂井えつ子	清水がく
米不足と価格高騰への緊急対策を求める意見書	米不足と価格高騰は、6月末時点の米の民間在庫量が過去最低水準となるなど、安定した生産量を確保し、価格保障・所得補償により農家の収入を支えるなどの政策が不十分であり、政府に対し、緊急対策を求める。	×	-	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	議	○	○	○	○	×	
郵便投票制度の対象拡大及び投票環境の更なる整備を求める意見書	選挙権は、国民主権における重要な権利だが、郵便投票制度の対象は限定的で、障がいのある方の投票環境の向上や移動期日前投票所の設置など不十分のため、郵便投票制度の対象拡大及び投票環境の更なる整備を求める。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	×	○	○	○	○	
自動運転移動サービス等の社会実装に向けた環境整備を求める意見書	高齢者の運転による交通事故が問題となり運転免許自主返納の取組が進む一方、免許返納後の足の確保が課題となっている。安全に自動運転が行える車両の開発や、自動運転移動サービス導入への環境整備を求める。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	×	○	○	○	
慢性閉塞性肺疾患(COPD)の潜在的な患者に対する適切な対応を求める意見書	閉塞性肺疾患は、たばこの煙やPM2.5など有害物質の長期吸入暴露によって肺泡が破壊され、肺機能が低下し息切れや身体活動の低下から要介護へつながる。早期診断・早期治療への取組を強化し重症化予防対策を求める。	○	○	○	△	△	△	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	×	○	○	○	
不登校児童生徒に対して多様な学習機会の確保のための経済的支援制度の確立を求める意見書	①不登校の児童生徒がフリースクール等で行う多様な学習活動に対し、負担軽減のため経済的支援の検討と財政上の措置を講ずること、②フリースクール等民間施設の設定・運営に対する経済的支援制度の確立を求める。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	
地域公共交通への支援とシルバーバスの改善を求める意見書	地域公共交通の維持が困難となっており、コミュニティバスなど公共交通を維持するため、シルバーバスの料金体系の見直しやコミュニティバスへの適用など東京都の抜本的な支援の強化を求める。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	
在沖縄米空軍兵による少女誘拐・暴行事件に抗議し、その根絶および日米地位協定の改定を求める意見書	在日米軍人・軍属にかかわる事件・事故の発生情報を、通報手続に従って地元自治体に速やかに提供する体制を再構築すること。米軍人等を特権的に扱う日米地位協定の抜本的改定に向けて力を尽くすことなどを求める。	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	議	○	○	○	○	×	
ミャンマーに民主的な政治体制と国民の平和を早期回復するために日本政府に具体的で迅速かつ実効性ある行動を求める意見書	ミャンマー軍事クーデター非難の国会決議の実現のため、具体的かつ実効性ある対応を行うこと、国軍指導者や軍系企業に対する標的制裁を行うこと、国内避難民の命を守るために国境越えの人道支援を行うことを求める。	×	×	×	×	△	△	△	△	○	○	○	○	○	○	×	×	議	○	×	○	○	○	×	
現行の健康保険証の廃止・マイナ保険証への一本化を強行しないよう求める意見書	「現行の健康保険証の廃止・マイナ保険証への一本化」の方針を撤回し現状どおり「現行保険証とマイナ保険証の併用」を続けること、現行保険証の有効期限、資格確認書やマイナ保険証登録解除など市民に周知を求める。	×	×	×	×	○	×	○	△	○	○	○	○	○	○	×	×	議	△	△	○	○	×		
介護保険の訪問介護事業所の厳しい運営状況への支援に関する意見書	介護事業所の家賃補助などの管理費への支援を行うこと。総合事業への経済的評価の向上を行うこと、訪問介護報酬の早期見直しを行うこと、地域の介護事業者の声を反映したこれらの事項の実施を求める。	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	△	議	○	○	○	○	△		
新たな市民まつりの再構築に向け丁寧な対応を求める決議	旧市民まつり出展団体等に対し説明会を開催すること、今後の市民まつりの在り方を検討する会議体の参加対象を拡充し本格的な再開までのつなぎ事業と今後の在り方の2つの方向性を本年度中に議会へ示すことを求める。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	×	○	○	○	○		
十分な説明責任を果たさない白井市長に対し、優先整備2路線検証の総合的判断を令和7年第1回定例会冒頭までに示すことを求める決議	優先整備2路線検証の総合的判断を令和7年第1回定例会冒頭までに示し、説明責任を果たすこと、それが困難な場合は、透明性や公平性、客観性の担保に最大限努力し、手法やスケジュールも含め見直しを求める。	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	議	×	○	○	○	○		
自己増殖型mRNAワクチン(レプリコンワクチン)を含むmRNAワクチンの国民への接種に中止を求める意見書	新型コロナウイルスによる死亡認定は747件である。その真相究明を行わず、レプリコンワクチンは全世界で日本だけが認可された。重症化率は季節性インフルエンザ以下にもかかわらず危険なワクチンの接種中止を求める。	×	×	×	△	△	△	△	○	○	○	○	×	×	×	×	×	議	△	○	○	○	×		

【会派略称】 自：自由民主党・信頼の小金井 み：みらいのこがねい 子：子どもの権利を守る会 共：日本共産党小金井市議団 公：小金井市議会公明党 お：小金井をおもしろくする会
 参：参政党小金井 ネ：生活者ネットワーク 緑：緑・つながる小金井 街：街の仲間たち

年に1度の日曜議会を開催!!

平日に傍聴へ来られない方にも議会の様子を知っていただくため、日曜議会を開催します。当日は、各会派の議員が一般質問を行いますので、ぜひお越しください。

日時 12月1日(日) 午前10時から
 場所 議場(市役所本庁舎4階)
 その他 手話通訳を行います。

政務活動費収支報告の修正について

子どもの権利を守る会から、令和3年度から令和5年度までの政務活動費で支出した広報費のうち、会派ニュースの費用に誤りがあったため、一部按分し、合計20万7,859円の返還とともに、政務活動費収支報告書の修正がありましたので、お知らせします。

広報協議会を開催しました

【9月2日・9月24日】
 ▶ 各会派の状況報告について
 ▶ 議会改革の調査事項について

米不足と価格高騰への緊急対策を求める意見書

反対討論(要旨)
五十嵐京子(自民党・信頼)
 8月に一部米の搬入に停滞が生じたが、例年9月には4割程度まで本格的に出回ることで、6年産米の生育は順調で、出荷の前倒しも見込まれる上に、政府は業者に対し円滑な流通に努めるよう働きかけている。このような状況で、市議会から「米不足」のメッセージを出すこと自体が、市民の不安をかき立て買い占めなどの呼び水になりかねないことから、危機管理上も慎重であることが求められる。以上の観点から反対する。

自己増殖型mRNAワクチン(レプリコンワクチン)を含むmRNAワクチンの国民への接種に中止を求める意見書

賛成討論(要旨)
森戸よう子(日本共産党)
 多様な学びの場への経済的支援とフリースクールなどの民間施設に対する支援は、日本共産党は以前から要求し続けてきたため賛成である。ただ意見書内で紹介されている「教育機会確保法」は、国の学校に行くことが前提で、不登校の子どもとその家族を追い詰めることが懸念され、拙速に決めることが懸念という批判が上がった法律でもある。本意見書では意見が分かれていることが読み取れないため、討論でそのことを指摘する。

十分な説明責任を果たさない白井市長に対し、優先整備2路線検証の総合的判断を令和7年第1回定例会冒頭までに示すことを求める決議

反対討論(要旨)
水谷たかこ(こがねい)
 優先整備道路2路線の見直しを市長が都に求めるためには、都市計画マスタープランに定める検証という根拠が必要で、都が事業に着手する前にやらなければ手遅れになる。市は都市計画審議会や市議会の声を可能な限り反映しながら進めており、態度が二転三転したわけではない。関係団体等との調整が必要となる重大な判断をごく短期間で行うのは適切と言えず、議会への説明が市議会議員の改選後になるとしてもやむを得ない。

不登校児童生徒に対して多様な学習機会確保のための経済的支援制度の確立を求める意見書

賛成討論(要旨)
渡辺大三(子どもの権利)
 都道2路線整備の中止・見直しを東京都に求めるとの市長の公約・施政方針が今日に至るまで履行されていない。市議選前最後となる令和7年第1回定例会の冒頭までに「総合的判断」を示すべきだ。市長の政策意思に何らの「ゆるぎ」も「ゆらぎ」もないのであれば、かつて私が提案したように、中止を要望するための有識者会議の設置による理論武装、さらには官民協働での運動体の構築などが有効だと改めて思うところである。

議会報告会“しゃべり場”開催しました



夏真っ只中の8月初旬、議会基本条例にのっとり、小金井市議会報告会「しゃべり場」を2会場で開催し、それぞれ13名の方にご参加いただきました。「しゃべり場」というタイトルには、参加者同士が市政について気軽に意見交換できる場を作りたい、という思いをこめました。10代から70代の幅広い年代の方に参加していただきました。各会場同内容で、第1部は4つの委員会からそれぞれテーマを決めて各8分間で報告を行い、第2部は委員会ごとのテーブルで議員を交えて意見交換を行いました。開催前の議員研修会で議員全員がファシリテーション研修を受け、テーブルトークに臨みました。



小金井 宮地楽器ホール 小ホール 2024.8.9 (金)



前原町西之台会館 2024.8.10 (土) 初の坂下開催!



議員と市民を交えてテーブルトークを行い、最後に短くまとめを発表しました。



各委員会でテーマを決めて報告しました

議会では多くの議題があり全てを報告することは難しいため、委員会ごとにテーマを絞って報告しました。総務企画委員会は「消防団の現状と課題」「おくやみコーナーについて」、厚生文教委員会は「保育政策の課題・その他」、建設環境委員会は「地域公共交通は今」「気候危機対策」、議会運営委員会は「高校生と議会の交流」について、それぞれ報告しました。

議会報告会の詳細は市議会HPをご参照ください

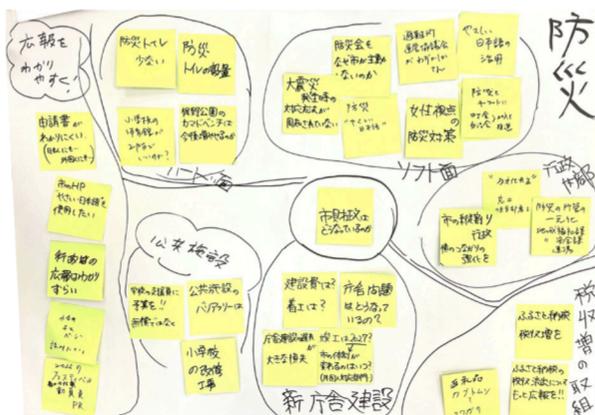


参加者は関心のあるテーマのテーブルを選んで着席。参加者同士の意見交換も。

参加者アンケート 自由記述の一部 (要旨)

「普段あまり触れることない活動報告が聞けて良かった」「市民の参加者数が少なめだったのが残念」「議員がファシリテーションを学んだというのは良かった」「時間が短い。回数を頻繁に開催して欲しい」「報告が早口で内容の理解がしにくいと感じた」「グループトークが良かった。問題意識が高い方が集まり、普段では知ることができない問題を知ることができた」「市の課題についてもっと突っ込んで話がしたい」など

テーブルトークでは付箋を使って意見交換しました



参加者にはそれぞれ関心のあるテーマでご意見や疑問などを付箋に書いていただき、模造紙に貼りながら発言し意見交換。後半でグループ分けを行い見出しを付けました。



原稿は議員が作成しています

次の定例会は令和6年11月28日(木)開会予定です。